

平成 24 年度 第 2 回 農薬吸入毒性評価部会
議事概要1 開催日時及び開催場所

日 時： 平成 25 年 2 月 4 日（月） 10：00～11：15
場 所： 法曹会館（高砂の間）

2 出席委員（五十音順、敬称略）

井上達、小川久美子、平塚明、鰐淵英機

3 会議の概要

(1) 平成 24 年度吸入毒性試験の進捗状況について

資料 1 に基づき、環境省及び試験実施機関より説明がなされ、了承された。
主な質疑応答の内容は以下のとおり。

- 媒体使用にあたりどのような基準から検討が行われたのか質問があり、OECD テストガイドラインに従って、媒体使用の要否を含めて検討を行った結果、水やホワイトカーボン等の媒体を使用しても満足いく結果が得られなかった旨回答された。
- 製剤で試験を実施した方が試験しやすいことは無いかとの質問があり、まずは OECD テストガイドラインどおり、原体で実施することを基本とする旨回答された。製剤の使用の可否については、現在試験を進めているアズキシストロビンの評価を踏まえて判断したい旨回答された。

(2) 無人ヘリコプター散布農薬に係る毒性評価

資料 2 に基づき、環境省より説明がなされ、原案どおり了承された。

なお、委員より気中濃度評価値の算出方法の根拠について質問があり、農薬吸入毒性評価手法確立調査事業において確立された算定方法を参考としている旨回答された。

(3) 今後の吸入毒性試験対象農薬

資料 3 に基づき、環境省より説明がなされ、原案どおり了承された。

(4) その他

- 環境省より、本毒性評価部会です承された毒性評価結果を踏まえ、農薬の大气経路による飛散リスク評価検討会において、ばく露のシミュレーションと併せて評価を実施し中間報告書を取りまとめることについて説明があった。
- 事務局より、本事業は来年度も引き続き継続されることについて連絡があった。

(以上)